

みらい通信



各務原市議会
市民派・チームみらい
杉山 元則

事務所: 蘇原緑町 4-15
電話 090-7678-7869
FAX 058-382-3980
Mail: kizuna@true.ocn.ne.jp

水道水PFAS汚染による血液検査の必要性は

環境省は11月29日「PFOS 及び PFOA に関する対応の手引き(第2版)」を発表し、新たに②の項目を追加しました。



【環境省の手引き】

- ①現時点での知見ではどの程度の血中濃度でどのような健康影響が個人に生じるか明らかとなっておらず、血液検査の結果のみをもって健康影響を把握することは困難であるとされている。
- ②なお、PFOS 又は PFOA による健康影響を明らかにするために、疫学研究を行う上で血液検査を行うことも考えられる。(新たに追加)

②のように、環境省は人の健康状況に影響を与えているかを調査する手法として血液検査の有効性を認めたこととなります。また、岡山県吉備中央町は、PFAS が高い濃度で検出された問題で、11月25日全国で初めて公費による血液検査が始まった。

質問:各務原市は公費による血液検査の必要性をどう考えるか

市答弁:手引きの「①血液検査の結果のみをもって健康影響を把握することは困難である」ことから費用助成の予定はない。

再質問:手引きの「②疫学調査を行う上で血液検査も考えられる」と書かれているが、市は血液検査の必要性をどう考えるか。

再質問をしましたが、川嶋一生議長が「再質問として認めない」と発言し、答弁を求めることができませんでした。(右側に続く)

川嶋一生議長の「議長不信任案」を提出

左記のように市の答弁に対して疑義があり再質問したところ、川嶋議長は「手引きの②については、市の答弁の中にありませんので再質問は認めません」「従わなければ質問を止めます」と発言し、市からの答弁を得られませんでした。

後日、議長に話し合いを求め、「一般質問で再質問が認められず、議論ができなかったことは納得できない」と抗議しました。

【川嶋議長の見解】

「再質問は直近の答弁に対して疑義があった場合に認められる制度。答弁にないところを質問されたので再質問を認めませんでした。私は一般質問は質問に対して答弁を求める場であって、杉山議員が言うような議論する場ではないと考えています。見解の違いです。」

市も私も、同じ環境省の手引きを引用して発言しています。市は都合の良い箇所のみを引用して答弁しており、私はその後の文章を引用して再質問していますので認められるべきです。

川嶋議長の行為は質問者の発言の権利や、市民の知る権利を奪ったこととなります。今後もこのような議事整理が進められては、自由闊達な議論ができなくなり容認できませんので、「川嶋一生議長の不信任案」を提出しました。

しかし、採決の結果は賛成少数で否決となりました。

PFAS問題は「そろそろフェードアウト」

NHKスペシャル「追跡 PFAS 汚染」という番組が12月1日に、放送され、各務原市と防衛省とのメールが取り上げられました。市から防衛省にPFAS問題について、

「そろそろこのネタも、フェードアウトとなるとありがたい」

というメールが送られていました。市民の記憶からそろそろ消えて欲しいと解釈できるメールは、市のトップに認識の甘さがあるから、担当者がそのようなメールを送ってしまったと思われます。

質問:「フェードアウト」というメールは、市長の意向を現したものでないか

市の答弁:PFAS の水質調査に関する事務が多く、職員は多忙を極め、心身ともに大きな負荷がかかっていた。「この忙しい状況を脱し、落ち着いた環境で業務を進めていきたい」といった個人的な思いをメール上でつい書いてしまったものです。

このメールに関しては、私が市に対して「資料要求」をして事前に入手した資料をNHKに提供し、その資料が番組の中で取り上げられたものです。市の幹部がPFAS問題を隠蔽し、適切に対応しなかった結果、職員に大きな負荷がかかってしまったと考えます。

地下水保全に関する条例の制定について

本市には、地下水を汚染から守り、そのかん養を図ることを目的とした地下水保全条例がなく、どれだけ地下水を汲み上げてても制限はなく、報告義務もない状況です。条例を作るべきと提案しました。

質問:地下水保全に関する条例の制定についての考えは

市答弁:今回のPFOS・PFOA問題や今後の水需要を踏まえ、新たな条例制定の必要性について検討していきます。

▶水道水PFAS汚染の原因について

自衛隊岐阜基地の西側エリアにPFAS濃度が高い地下水が検出されていることから、岐阜基地でPFASを含んだ泡消火剤を消火訓練で使用していたことが考えられています。

汚染の原因者には負担を求めることは当然と考えます。

質問:岐阜基地内の土壌調査はどこまで進んでいるか

市答弁:県市合同の専門家会議で「表層の土壌を調査しただけで汚染の由来がわかるわけではない」と意見があった。現在、県と連携してヒアリング等を進めている。現時点では土壌調査の予定はないが、今後の専門家会議において必要と判断された場合に対応を検討する。



各務原市の政治を変え、ワクワクするような政治を目指します

政和クラブ所属の川嶋議長の姿勢からもわかるように、浅野市長を擁護しようと、私たちに質問させないようにしており、議会のチェック機能が働いていません。私たちは、そんな市議会を変えたいと、しがらみの無い、市民の方を向いた政治を、各務原市から実現するために「市民派チームみらい」という政治グループを立ち上げました。選挙に向けて挑戦していきますのでご理解をお願いします。

一般質問動画



LINE 登録

